13
4423
1

小忠

自序

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

N13 4423 1

〈2018-6-8〉

[illegible]人[illegible]ものゝ[illegible]
[illegible]代
不易く時[illegible]今京はまた[illegible]
[illegible]
[illegible]
買[illegible]時[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

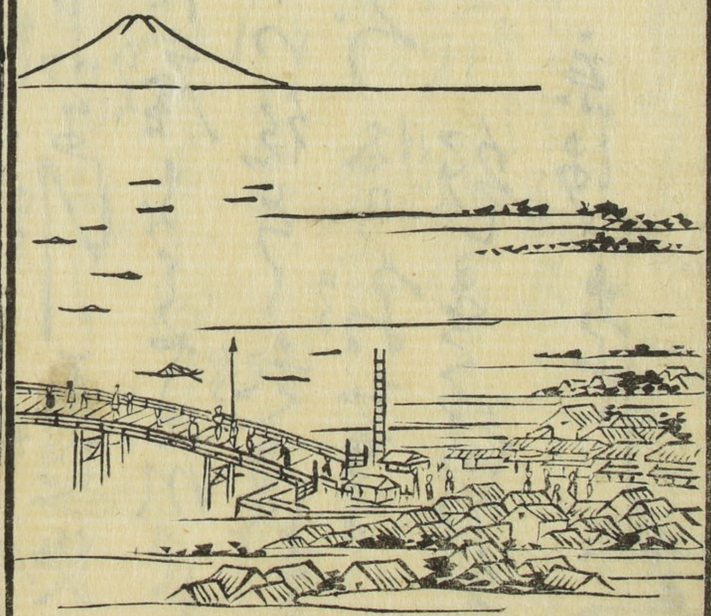
[illegible]

[illegible]

京ほ[illegible]

日本橋八江戸町の中央にて
橋の長さ四十三間あり正面
遠山の眺めをこゝに
御城江乗出まくの風景
東武第一の絶景なり
こゝにた者風景

彩色絵図
不二の景色
遠くに見えて
おもしろく
むさしの京



序ノ三

はしがき世話中東曙上之巻

二ヶ国の間へ人橋をかけて墨ト川柳の名白も
しるかりかた大江戸の張ひいきをみて人の
山八百八丁の真ふさつひ筆ふもおそれ
繁栄あり文化上方より知て下りし京坂
ゑ拙ふ人江戸ものゝ友達よりぶれ所
方ゝと見物せしかふを芝居ゝとあるまき
再編ゝり足面せしかこの月もすでに八つ色こゝ

三ゑもんもや、幕あとえく

西面ニ奥ヒロ二間袖つゝき三宝かまくらけと
まへ壺庭源氏奥ゆ武者ハ中ほ五間ほ
下ゑ五ゑ人居る

切戸口　大和や川
ト市ヒロ　三ゑもんもや

ちゑ同切戸口　川毋氏　又ゑ大ぜん　かくらゆや　おや玉
ト市ヒロ　五人とんく
寺　ゆ　又　汚屋ふいさ家

上ノ手

源ゆ信長ゆ初ゆ上ゑ人一百ハ
ゆ我のゆ命ゆ参ゆ
一源　ゆ家の十命　祐成
一平　ゆ中ゆ第ゆ小條ゆ
ゆ
一平　ゆ家の中ゆ致
一平　祐成ゆ致
一屋　二ゑ祐つ

幸「ハテめづらしい
三人「對面ぢやナア
ト双方まちまちへ世辞あいさつして
幸「そこらへ二まいあわせじやナア
トチヨン〳〵〳〵トきざみの拍子木にて幕引く
此鳴と古鼓のしやぎりにて〳〵ちやうげうと幕
の内みつちりちやぜんの真似して
ひろ町「京介ぢやア源介ぢやア狂言〳〵ぢやアなかろ
ぢやア中村〳〵ぢやア大和屋母ぢやア幸四郎ぢやアいり

ト大勢は擲ちあひ[illegible]ブウ〳〵〳〵〳〵ト三人はあらそひの
大勢の三人勢の中より
京介「ナニまち此内ゞ壹人のハ御ぢやら
白七「何をいふ 京「ワレめくらちやんの出の芝居で
ふづくまんぢやるめへ[illegible]つらさげゞ人の名の
よくぞ何をいふ 江「ヨウねのれろ
おりやア拍をとるのぢやア豚玉味じやふとんぶ
京「よびてハそんぢやアいけナア 白「よびていふ子
気づくへ次の二ばんあれ跡へいぶ出すつらするを

蕎麦でもひやむぎでも江戸が 京「そりやさうでござりやうかいな
いつものじやがいけすかん人ぢや そりや情ない ひもじいかんと
生ぬるいさかなよりやうまいさかりでござりますとんだ生の魚
折ふし此の肉へ遠く都を離れても どうしても江戸へ出ましたが
格別うまくない此の御肴はどうも喉にもとまらず千の肴
京「それはそれはもうまことに何から
ト口のその絵を見やの門より「京さん大江戸の何と
いふかい とうとう小言が出た
豊国ほどかくのが江戸三枚つゞき役者の錦絵や
法衣ひの深き今が十両なかなか五つ人手をかけ

その亭主らしいところが 京「おんなにはよしあしともいつたつけが
いかにおいしいおすまいでもいきにはならぬ 江戸「ライ京さん江戸は
江戸三ちやくより江戸 ト京の雛をいれ ト小綱町の
あらしの海をわたつて来た東ものを
東方「オヤ又ハコリヤ新道でもおほしいとテラテラと
とにかくぬけるような人ぶりで折々は浮世の人々にかくれ
よう先代江戸の絵を見せて緑青三筋道をひいて出来る
京人がいはゆる江戸の人をもつて江戸「コリヤあの小僧のかたちの
うらく縁とかの
むかしも江戸千 京「何のまア人の下に小僧で
おかみさんとの何 江戸「それでもどうか小僧さま

侍

仕

市高八 侍 三十三石三斗

三石三十三石

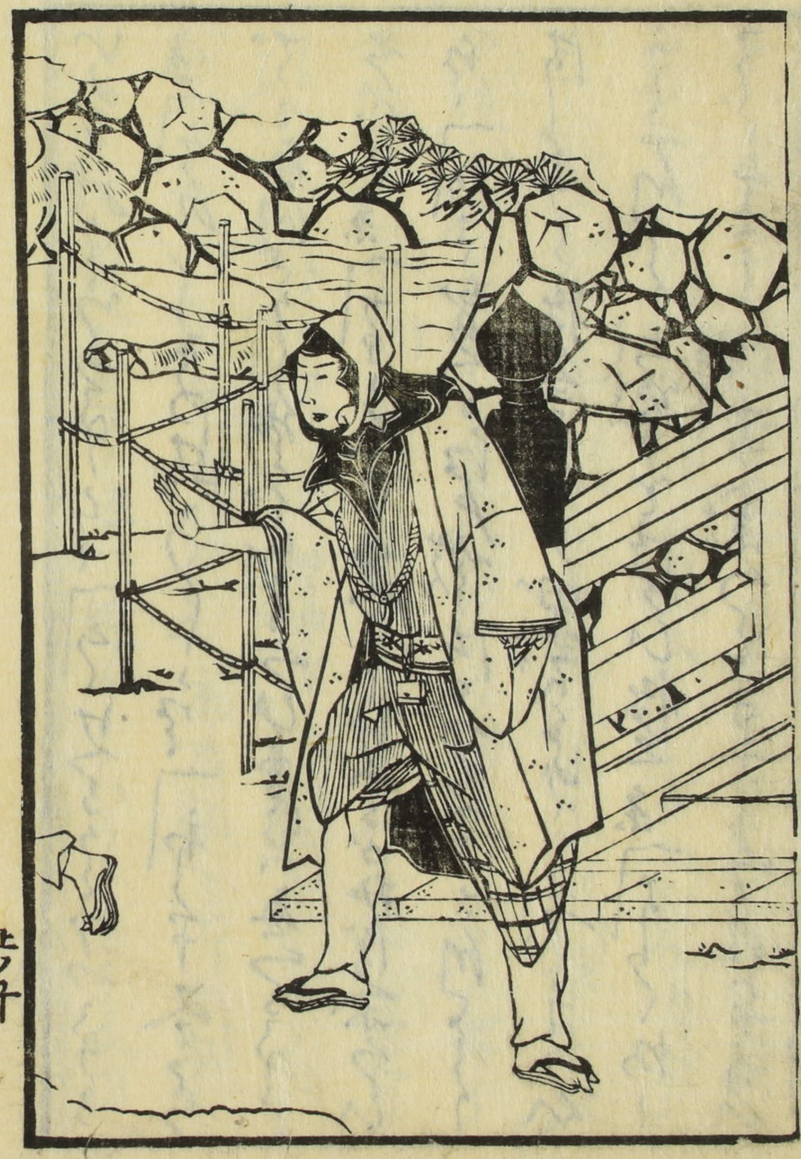
京 山田 いな側あつ

京

京

京

九
中林宗
乃ち義
舟
書肆
十籠
宗助



上ノ十一終